

# 豊庄だより



第 698 号 2022 年 2 月 28 日

豊庄保育園では、3 歳児（ばら組）の後半（12 月の生活発表会終了後ごろ）から、歯

福岡市早良区南庄 2-26-13  
社会福祉法人林生会豊庄保育園  
園長 西尾 達



みがきのとりに

みをしています。3 歳児は乳歯が出そろい、正しい歯みがきをしておかないと、虫歯ができてしまうからです。

いつもは、ばら組の担任が子どもたちに、歯みがきの大切さを話し、取り組んでいるのですが、今年度は、園医の田中先生に保育園に来ていただき、直接指導してもらうことにしました。今号は、その時の様子を紹介します。（※コロナの影響で、企画はしていましたが、

のびのびとなり、2 月 24 日に行いました。）

「歯みがきをしている人？」と田中先生が子どもたちに問いかけました。ほとんどの子が「は〜い」と言って、手をあげました（写真①）。「じゃあ、どんな風にやっているか、見せてくれるかな？」という問いに、自分の歯ブラシで、いつもやっている歯みがきをしました（写真②）。



先生は、歯

みがきの手

順が描かれた

ボードを手に、「こんな風にみがくといいよ」と話してくれました（写真③）次に、廊下に出て、実際にやってみました。先生はその様子をじっと見つめていました（写真④）。再び、部屋に戻り、今日学んだことを思い出しながら歯みがきの練習をしました（写真⑤）。

今回の歯科医の

先生を招いての歯みがき指導は初めてでしたが、今後は、ゆり組、ひまわり組でも行うことができると考えています。

終了後、今回の歯みがき指導について、田中先生に感想を聞きました。「初めてのことで、どのように子どもたちに話していけばよいか、いろいろと考えました。インターネットで歯みがきの仕方の動画を見つけ（「ライオン」提供）、今回は使いませんでした。参考になるかもしれません。今日、子どもたちに、歯みがきの仕上げについて問いかけましたが、親による仕上げはもちろん大切ですが、子どもが、親の歯みがきの仕上げをしてやるのも、親子のコミュニケーションが深まり、いいかもしれませんね」（田中先生談）

今回の歯科医の

先生を招いての歯

みがき指導は初

めてでしたが、

今後は、ゆり組、

